

下水道事業業務状況説明書類
(令和3年度下半期)

事業の概況

下水道事業の状況

●公共下水道の整備状況（R4.3.31現在）

区 分	令和3年3月末	令和3年9月末	令和4年3月末	令和3年度増減	令和3年度下半期増減
供用開始人口	44,565人	—	43,879人	▲ 686人	—
処理人口普及率	96.0 %	—	96.1 %	0.1 %	—
水洗化人口（区域内）	38,731人	38,654人	38,183人	▲ 548人	▲ 471人
水洗化率（区域内）	86.9 %	86.9 %	87.0 %	0.1 %	0.1 %

※水洗化率は水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

●個別排水処理施設の整備状況（R4.3.31現在）

区 分	令和3年3月末	令和3年9月末	令和4年3月末	令和3年度増減	令和3年度下半期増減
設置等基数	95基	96基	97基	2基	1基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

工事発注の状況（R3.10～R4.3）

【公共下水道事業】

予算：収益的支出 款：下水道事業費用 項：営業費用 目：管渠費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
下水道管渠内面補修工事その2	2022/1/25	2,288,000	(株)北海道グリーンメンテナンス

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
4308外雨水管渠新設工事	2021/10/4	9,757,000	(有)合田産業
汚水柵設置工事その4	2021/10/14	374,000	(株)小笠原組
7192雨水管渠新設工事(第1回設計変更)	2021/11/8	1,815,000	(株)佐々木組
汚水柵設置工事その5	2021/11/18	2,431,000	(株)小笠原組
9600A外污水管渠新設工事	2021/12/6	13,101,000	(株)リフィット
7192雨水管渠新設工事(第2回設計変更)	2021/12/9	286,000	(株)佐々木組
汚水柵設置工事その6	2022/1/17	1,694,000	(株)林田建設
常盤町地区污水管渠移転補償工事(第1回設計変更)	2022/1/26	△ 847,000	北硫建設(株)
4133外雨水管渠新設工事(第1回設計変更)	2022/1/27	△ 649,000	北硫建設(株)
4308外雨水管渠新設工事(第1回設計変更)	2022/1/27	△ 220,000	(有)合田産業
汚水柵設置工事その7	2022/2/14	1,248,500	(株)小笠原組
9600A外污水管渠新設工事(第1回設計変更)	2022/2/18	594,000	(株)リフィット

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
若山浄化センター改築更新工事(建築)	2021/11/30	11,374,000	住研ホーム(株)
若山浄化センター場内整備工事その2	2022/1/17	2,563,000	(有)市岡組

工事発注の状況（R3.10～R4.3）

【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その2	2021/12/6	1,837,000	(株)管工設備

経理の状況

令和3年度 登別市下水道事業貸借対照表
(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
1 固 定 資 産			3 固 定 負 債		
(1) 有形固定資産			(1) 企業建設改良等の財源に充てるための企業債	14,303,310,282	
イ 土地	887,448,041		企業債合計		14,303,310,282
ロ 建物	984,644,955		固 定 負 債 合 計		14,303,310,282
減価償却累計額	<u>△ 289,887,644</u>	694,757,311	4 流 動 負 債		
ハ 構築物	29,840,898,606		(1) 企業建設改良等の財源に充てるための企業債	1,243,606,059	
減価償却累計額	<u>△ 6,040,230,592</u>	23,800,668,014	企業債合計		1,243,606,059
ニ 機械及び装置	2,667,129,415		(2) 未払金		59,259,527
減価償却累計額	<u>△ 1,438,390,516</u>	1,228,738,899	(3) 引当金		
ホ 車両運搬具	1,285,200		イ 賞与引当金	4,849,428	
減価償却累計額	<u>△ 933,200</u>	352,000	ロ 法定福利引当金	<u>941,949</u>	
ヘ 工具、器具及び備品	15,550,386		(4) 預り金		5,791,377
減価償却累計額	<u>△ 14,099,081</u>	1,451,305	(5) その他流動負債		7,781
ト 建設仮勘定		<u>2,377,700</u>	流 動 負 債 合 計		1,308,764,744
有形固定資産合計		26,615,793,270	5 繰 延 収 益		
(2) 無形固定資産			(1) 長期前受	12,526,724,135	
イ その他無形固定資産		<u>1,656,000</u>	(2) 収益化累計額	<u>△ 3,252,078,612</u>	
無形固定資産合計		<u>1,656,000</u>	繰 延 収 益 合 計		9,274,645,523
固 定 資 産 合 計		26,617,449,270	負 債 合 計		24,886,720,549
2 流 動 資 産			資 本 の 部		
(1) 現金・預金	184,245,368		6 資 本 金		1,257,514,784
(2) 未収金	114,008,111		7 剰 余 金		
貸倒引当金	<u>△ 11,048,035</u>	<u>102,960,076</u>	(1) 資本剰余金	340,627,285	
流 動 資 産 合 計		287,205,444	資本剰余金合計		340,627,285
資 産 合 計		26,904,654,714	(2) 利益剰余金	186,528,070	
			イ 減債積立金	<u>233,264,026</u>	
			ロ 当年度未処分利益剰余金		419,792,096
			利益剰余金合計		
			剰 余 金 合 計		760,419,381
			資 本 合 計		2,017,934,165
			負 債 資 本 合 計		26,904,654,714

令和3年度 登別市下水道事業損益計算書
(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収	益			
(1)	使用	料	331,487,673		
(2)	処理	料	8,921,349		
(3)	他会計負担	金	39,579,240		
(4)	その他営業収	益	<u>56,700</u>	380,044,962	
2	営業費	用			
(1)	管渠	費	28,973,190		
(2)	処理場	費	149,748,266		
(3)	排水設備促進	費	55,035		
(4)	し尿投入施設運転管理	費	6,577,500		
(5)	個別排水処理施設管理	費	6,594,795		
(6)	総係	費	27,149,658		
(7)	職員給与	費	28,287,161		
(8)	減価償却	費	476,556,739		
(9)	資産減耗	費	31,059,209		
(10)	その他営業費	用	<u>2,230,981</u>	<u>757,232,534</u>	
	営業	利			△ 377,187,572
3	営業外収	益			
(1)	受取利息及び配当	金	0		
(2)	他会計補助	金	△ 162,757,771		
(3)	長期前受金戻入		198,319,621		
(4)	その他営業外収	益	18,102,508		
(5)	雑収	益	<u>92,708</u>	53,757,066	
4	営業外費	用			
(1)	支払利息及び		117,470,364		
(2)	企業債取扱諸				
	雑支	出	<u>9,853</u>	117,480,217	△ 63,723,151
	経常	利			△ 440,910,723
5	特別	利			
(1)	過年度損益修正	益	<u>0</u>	0	
6	特別	損			
(1)	固定資産売却	損	0		
(2)	減損	損	0		
(3)	災害による	損	0		
(4)	過年度損益修正	損	489,263		
(5)	その他特別	損	<u>0</u>	<u>489,263</u>	△ 489,263
	当年度純	利			△ 441,399,986
	前年度繰越	利益			△ 158,374,494
	その他の未処分	利益			<u>20,516,481</u>
	剰余金変動	額			
	当年度未処分	利益			<u>△ 579,257,999</u>

令和3年度 登別市下水道事業損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収	益			
	(1) 使用	料	661,917,032		
	(2) 処	理	15,165,019		
	(3) 他会計負担	金	39,579,240		
	(4) その他営業収	益	<u>136,800</u>	716,798,091	
2	営業費	用			
	(1) 管渠	費	36,654,693		
	(2) 処	理	253,668,784		
	(3) 排水設備促進	費	205,045		
	(4) し尿投入施設運	転	6,930,000		
	(5) 個別排水処	理	8,671,540		
	(6) 総	係	27,470,032		
	(7) 職	員	46,171,365		
	(8) 減	価	955,349,239		
	(9) 資	産	31,059,209		
	(10) その他営業費	用	<u>2,230,981</u>	1,368,410,888	
	営業	利			△ 651,612,797
3	営業外	収			
	(1) 受取利息及び配	当	10		
	(2) 他会計補	助	581,242,229		
	(3) 長期前	受	393,787,621		
	(4) その他営業外	収	23,579,785		
	(5) 雑	収	<u>121,934</u>	998,731,579	
4	営業外	費			
	(1) 支	払	240,746,577		
	(2) 雑	支	<u>9,853</u>	240,756,430	757,975,149
	経	常			106,362,352
5	特別	利			
	(1) 過	年	0	0	
6	特別	損			
	(1) 固	定	0		
	(2) 減	損	0		
	(3) 災	害	0		
	(4) 過	年	489,263		
	(5) その他特別	損	<u>0</u>	489,263	△ 489,263
	当	年			105,873,089
	前	年			0
	そ	の			127,390,937
	剰	余			233,264,026
	当	年			233,264,026

そ の 他

新事業年度の経営方針及び予算の概要

【事業の経営方針】

当市の下水道事業は、収入面においては、平成30年1月1日に実施した使用料改定により、使用料収入は大きく増加しましたが、急激な人口減少に伴う汚水処理人口の縮小などにより、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

一方、支出面においては、これまで急速に管渠等の整備を進めてきたことにより、建設事業に係る企業債の元利償還金が高止まりの状態にあるほか、財源調整のために借入れてきた資本費平準化債の公債費負担が年々増加するなど、非常に厳しい経営状況に置かれています。

こうした中、市民生活に不可欠な下水道サービスを安定的に提供していくためには、中長期的な視点から計画的な経営を行うことが必要となりますので、当市では、平成28年度に下水道事業経営戦略を策定し、今後12年間の収支見通しを試算していましたが、経営戦略策定後4年間の実績や今後の計画等を踏まえ、令和2年度に経営戦略の見直し、更新を行ったところですが、令和3年度、一部試算に誤りが見つかったことから、経営戦略を修正しました。今年度においても、収入確保や支出削減に努めるとともに、経営戦略に位置づけた取組を着実に実施していきます。

施設の維持管理においては、施設稼働に支障が生じることの無いよう努めることはもちろん、ライフサイクルコストを低減する観点から、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点化するなど、公営企業としての経済性を最大限発揮し、効率的な経営に努めます。

投資事業に関しては、平成22年度以降、雨水管渠の改築や新設を進めており、今後も下水道事業の健全性を堅持しつつ、着実に雨水管渠の整備を進めるため、雨水管渠整備計画に基づき、国庫補助金の配分状況なども勘案しながら、着実に事業を実施していきます。

【予算の概要】

令和4年度の予算総額は、（公共下水道事業、個別排水処理施設事業をあわせて）収益的収支（3条予算）は、収入が17億6,110万円、支出が16億6,630万円、資本的収支（4条予算）は、収入が9億9,130万円、支出が17億3,780万円となっております。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額7億4,650万円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額882万8,000円、当年度分損益勘定留保資金5億7,538万円、減債積立金1億6,229万2,000円で補てんする予定です。

（単位：千円）

区 分	収 入	支 出
収益的収支（3条予算）	1,761,100	1,666,300
公共下水道事業	1,743,880	1,648,595
個別排水処理施設事業	17,220	17,705
資本的収支（4条予算）	991,300	1,737,800
公共下水道事業	972,306	1,714,902
個別排水処理施設事業	18,994	22,898